



平成29年10月号(隔月発行)

札幌司法書士会 会長 里村美喜夫 編集担当責任者 番井菊世 <http://www.sihosyosi.or.jp/>
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地 電話 011-281-3505 FAX 011-261-0115

10月8日「さっぽろレインボーマーチ+」 が行われました。



LGBTってなに？

- L : レズビアン (女性同性愛者)
- G : ゲイ (男性同性愛者)
- B : バイセクシャル
(恋愛相手の性別にこだわらない人)
- T : トランスジェンダー (身体の性別と心の性別に不一致感を持ち、身体の性別とは異なる性別を生きる人たちの総称)

「さっぽろレインボーマーチ+」ってなに？

LGBTやその他のセクシャルマイノリティの人たちが身近な存在であることを知ってもらいたい、という理由からLGBT当事者が企画したパレードです。

当日は大通西10丁目から駅前通をとおって、旧北海道庁の前まで行進しました。

先頭のプロート(山車)では、きらびやかな衣装のおねえさん(おにいさんかも)たちが音楽に合わせて踊ったり、沿道に向かって手を振ったりし、その後に約400人が続きました。

誰でも参加自由だったので、途中から沿道の人たちも一緒に歩いていました。手を振ってくれる人も大勢いました。

パレードに参加した人たちは、自分の好きな格好をして、メッセージボードを持ったり、レインボーフラッグを振ったり、踊ったりしながら沿道の人たちにアピールしていました。

見かけは派手だけど、とてもまじめで

すてきなパレードでした。

パレード出発前には、セクシャルマイノリティであることで、迫害されたり亡くなった方への追悼の意味を含めた黙祷と実行委員長の挨拶がありました。

挨拶の中で、「セクシャルマイノリティの当事者はまだまだ悩んだり、つらいことも多いけれど、札幌でパレードをしていることを知れば、自分と同じ地域で活動している当事者がいる、と勇気づけられることもあると思う」(言葉を簡略化しています。)という言葉が印象的でした。

パレードでは、「私達は、どんな性のあり方を持っていてもいいはず。あなたの身近な人が傷ついているかもしれません。どうかそのことを皆さんに知って頂きたいです。皆さんと同様、私達もこの街で皆さんと一緒に暮らしています。」と繰り返し呼びかけられていました。

また、同じ日に教育文化会館で企画物展示イベントも開催されていました。

私のまわりにも、あなたのまわりにも

LGBTの人たちは必ずいます。

LGBT当事者は推計912万人、人口の7.6%、13人に1人いて、左利きの人やAB型の人と同じくらいいるそうです。

「私のまわりにはいない」と思っている、公表していないだけで、あなたのまわりにも、同僚にも、お客さんにも、知り合いにも、親戚にも、必ずLGBTの人はいます。

その人達に対して、知らないうちにハラスメントをしていることがないように、読者のみなさんにも普段からちょっとだけ気をつけてほしいことがあります。(右)

また、札幌市がLGBTの電話相談窓口を設置しています。(右) 他にも、NPO法人等の相談窓口もあります。悩んでいる方は一人で悩まないで相談してみてください。

普段からちょっとだけ気をつけてほしいこと

- ①「彼氏(彼女)いるの?」ときかない。「付き合っている人いるの?」がベター
- ②「結婚しないの?」ときかない。①も含めて同性愛・異性愛問わず傷つく人がいます。
- ③異性愛者を「普通」と言わない
- ④「ホモ」「おかま」「レズ」という言葉を使わない(差別用語です。)

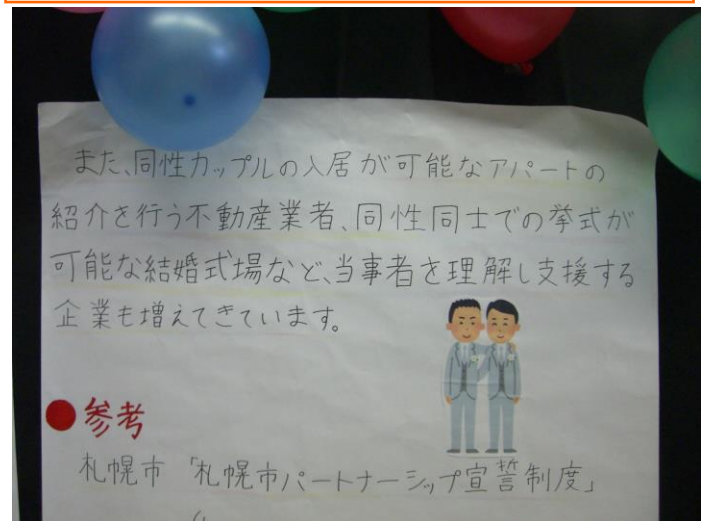
LGBTほっとライン

毎週木曜日 16:00~20:00

※年末年始を除く

011-728-2216

性別違和や同性愛などの悩みについて、本人やその身近な人など、どなたでも相談できます。
(札幌市市民文化局男女共同参画室)



★一言ニュース★ 北海道の最低賃金が
10月1日から 810円 になりました。



「生活保護相談会」を開催します!

暮らしのお困りごと、ご相談ください。

平成29年10月29日(日) 10:00~16:00

お電話でのご相談と、面談でのご相談があります。

電話 0120-222-470 (当日限り)

面談 札幌市中央区大通西13丁目中菱ビル6階

札幌司法書士会

(予約は、いりません。直接、会場へお越しください。)

編集後記

さっぽろレインボーマーチ+にかかる費用の一部をクラウドファンディングで募集したところ、目標金額35万円のところ、525,000円の支援があったそうです。

当日もパレードのまわりにはボランティアの方がたくさんいました。

「応援するよ」という気持ちを持っているだけでなく、わかるように表現することも大切なのだと思います。

来年はみなさんも一緒に歩きませんか?(A, C)